

2月6日：ベトナム株は上昇して始まる

月曜日にベトナム株は上昇して始まった。引けにかけて買い需要が高まった。

ホーチミン取引所のVN指数は1.13%高の1,089.29ポイントで取引を終えた。先週は3.6%ほど下落していた。

出来高は5.27億株、売買代金は9.6兆ドンだった。

219銘柄が上昇したのに対して181銘柄が下落した。

VN30指数は0.8%高の1,094.37ポイントで取引を終えた。

VN30指数採用銘柄では、ホアファットグループ（HPG）、バオベトホールディングス（BVH）、ベトジェット（VJC）などが上昇した。

マサングループ（MSN）、モバイルワールド（MWG）、サコムバンク（STB）、ビンホームズ（VHM）などが下落銘柄だった。

銀行株は多くの銘柄が上昇していた。軍隊商業銀行（MBB）、ベトコムバンク（VCB）、サイゴンハノイ商業銀行（SHB）、TPバンク（TPB）、BIDV（BID）、ベティンバンク（CTG）、テクコムバンク（TCB）などが上昇した。

エネルギー関連も上昇した。ペトロリメックス（PLX）、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）、ペトロベトナムドリリングサービス（PVD）などが上昇していた。

DSC証券のBui Van Huy氏によると、短期的な反発のチャンスがある。

VN指数は下落し、1,050-1,070ポイントを試す可能性はある。世界の株式市場と同様の反発トレンドが続き、1,150ポイントまで上昇する可能性があると同氏は語った。心理的な節目の1,050ポイントを割ると、980-1,000ポイントまで下がると投資家は買いに動く予想される。

長期の投資家にとっては、昨年末の下落は非常に良い投資機会となっていた。2023年も悪いニュースで下落する機会があるだろう。980-1,000ポイントは強い抵抗線となるため、良い投資機会になると同氏は予想している。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.38% 安の 214.47 ポイントで取引を終えた。

出来高は 5,000 万株で売買代金にして、売買代金にして 7,330 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。